

五十鈴が「ビジョナリーレポート」発行



五十鈴グループ（本社・東京都千代田区、社長・鈴木勝氏）はこのほど「ビジョナリーレポート2024」をまとめた写真。

24年度の基本方針は「SX（ソサイエティ、無限の可能性）ブランドの創造」と掲げ、事業活動とサステナビリティの取り組みを同期させ、社会に変化をもたらす新事業を生み出す同グループの企業価値（ブランド）の創造を目指す。23年度に実施したスチ

企業ブランド創造へ

ールサービス部門、ロジスティクス部門、ソリューション部門、ライフサービス部門の4グループへ再編した部門戦略の強化とともに、グループ横断の7委員会（ビジョナリー、技術開発、スタートアップ、デジタル、ガバナンス、ソーシャル、環境）で組織される「サステナビリティ推進体制」の発足による新たな価値の創造、サステナブルな成長・進化にむけたグループ経営や具体的な活動事例などが記載されている。

また21～30年までのロードマップ、未来社会創造企業を目指す長期ビジョン「I-Society X」では「デジタル」「ダイバーシティ・イン

クルージョン」、「モビリティ」、「超高齢化」、「コネクティッド」、「循環型」の六つの分野で多くのスタートアップを生み出し、50の事業会社を設立することを目標としている。

このほか本レポートでは、スチールサービス部門における鉄鋼流通の最適化推進やICO（五十鈴組織変革）活動、鋼板流通の在庫・工数を削減するDXシステム「i-Link X」などを紹介。ロジスティクス部門では物流の業務改善が大幅に向上するパレット調達支援システム「iPass」のほか、ソリューション部門、ライフサービス部門における取り組みなどを紹介・PRしている。詳細は同社ホームページ（URL <http://www.isuzu.co.jp>）のトップページからダウンロードできる。